



沿革

- 2009年 任意団体として設立
- 2012年 一般社団法人リディラバ 設立
- 2013年 株式会社Ridilover 設立

< 事業概要 >

STEP 1
問題の発見

to C

リディラバジャーナル：
社会課題に特化したWebメディア

STEP 2
社会化

to E

教育旅行：中高生向けスタディツアー

to B

企業研修：リーダー人材向け越境研修

STEP 3
資源の投入

to B

社会課題起点での事業開発

to G

**省庁との調査、実証、普及啓発事業や、
自治体との官民連携事業**

**社会の無関心を打破し
社会課題解決のエコシステムを創る**

STEP3 「資源の投入」で行っていること

2020年に立ち上げた事業開発・政策立案事業

主に大企業と省庁・自治体をパートナーに、社会課題解決のエコシステムを着実に築く



のべ**46**件

「社会課題をビジネスで解決する」取り組みを立ち上げ



のべ**25**件

省庁・自治体の皆さんと連携して、社会課題解決を推進

「社会課題をビジネスで解決する」取り組み

認知症とその家族にVR旅行を提供
/to NECソリューションイノベータ



100億ファンドでインパクト評価を担
う/with かんぽ生命・コモンズ投信



社内公募制の新規事業立案プログラム
を支援/to TOYOTA



関西電力



西濃運輸



三菱地所

NEC



TOYOTA



省庁・自治体の皆さんと連携して、社会課題解決を推進

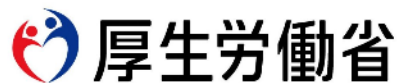
GIGAスクール構想立ち上げ
/with 経済産業省



市民協働でSDGsワークショップを実施
/with 茨城県つくば市



女性活躍の推進に向けた公民連携
/with 山形県山形市・資生堂



内閣府



文部科学省



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



スポーツ庁



十日町市



長野県

信濃町

省庁・自治体の皆さんと連携する上で、大きなレバレッジが効くツボを押すためには、課題を特定し、社会的に問題が認知され、資源の投入を意思決定することが必要

問題の発見

- 資源投入すべき課題、レバレッジポイントの特定
- 一般市民への課題の発信

メディア

社会課題に特化した
オンラインメディア
「リディラバジャーナル」

社会化

- 資源投入に向けた社会的な合意形成の下地作り
- 人々の認識、行動変化に向けたアプローチ

教育旅行

中高生向けの
スタディツアー

企業研修

企業リーダー
人材向け研修

事業開発

新規事業創出/
官民連携事業

資源の投入

- 資源投入に向けた事業化支援
- 社会的事業の立上、運営支援

社会課題
解決に
つながる
事業

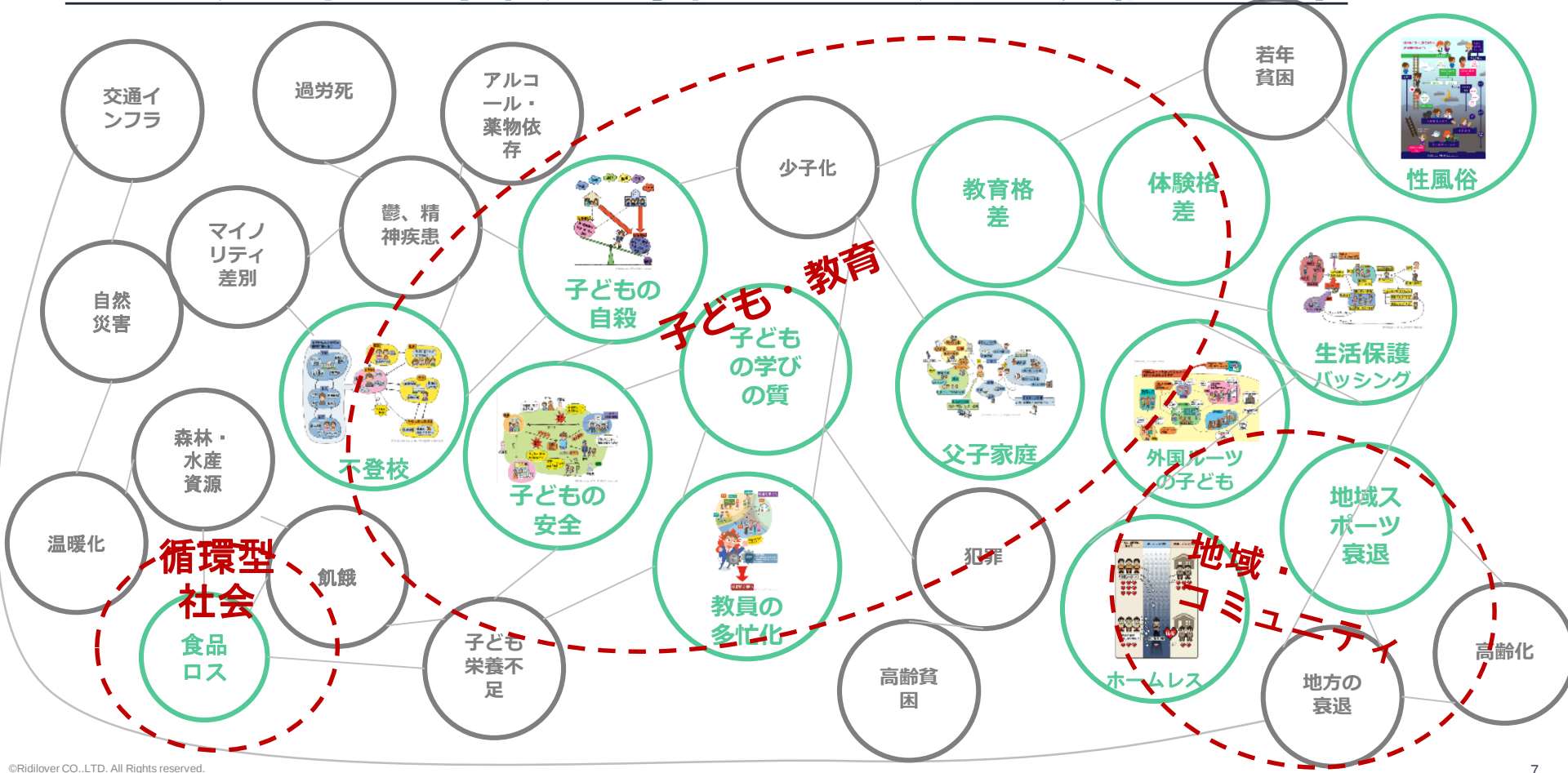
行政、他社、
リディラバが
運営する社会
的事業

リディラバ
が仕掛ける事業

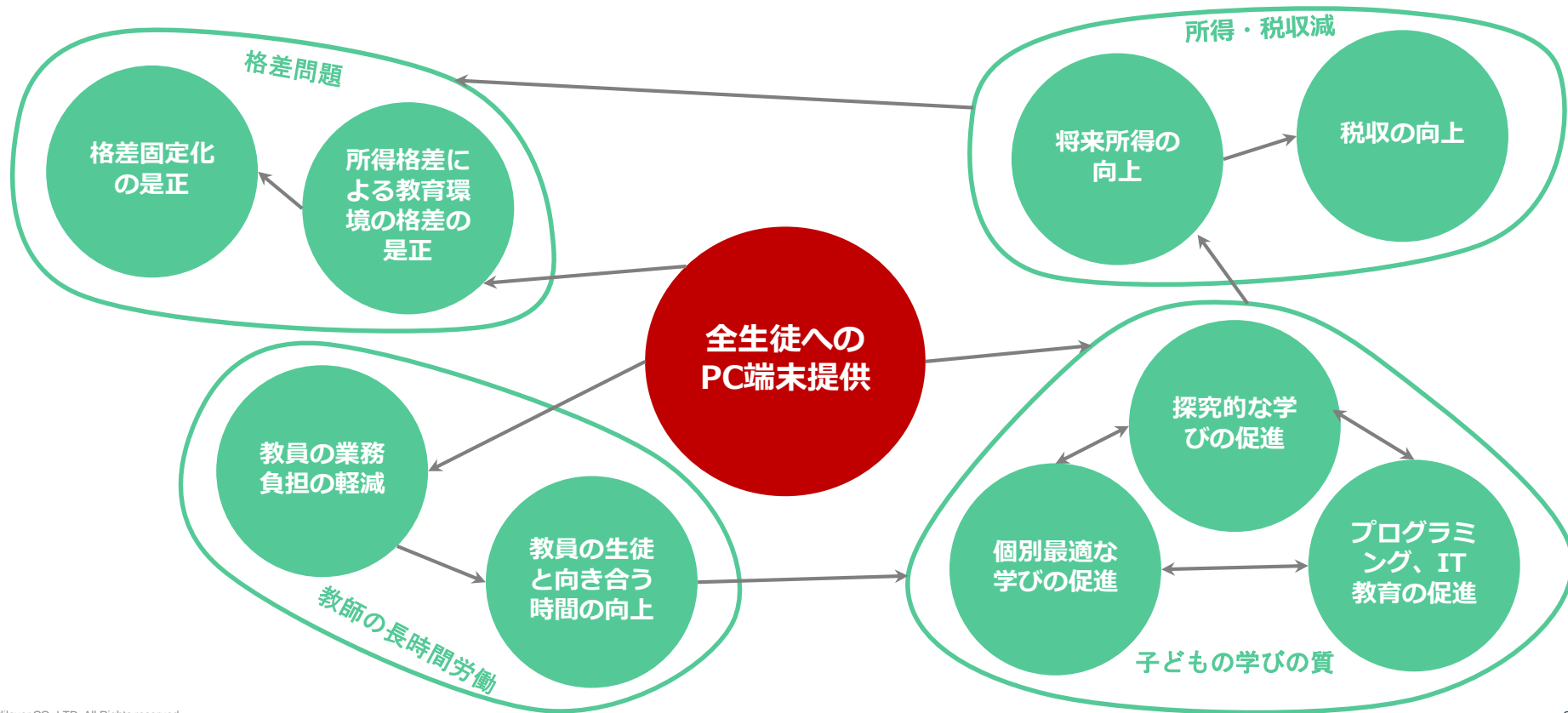
レバレッジポイント特定の事例：GIGAスクール構想とは



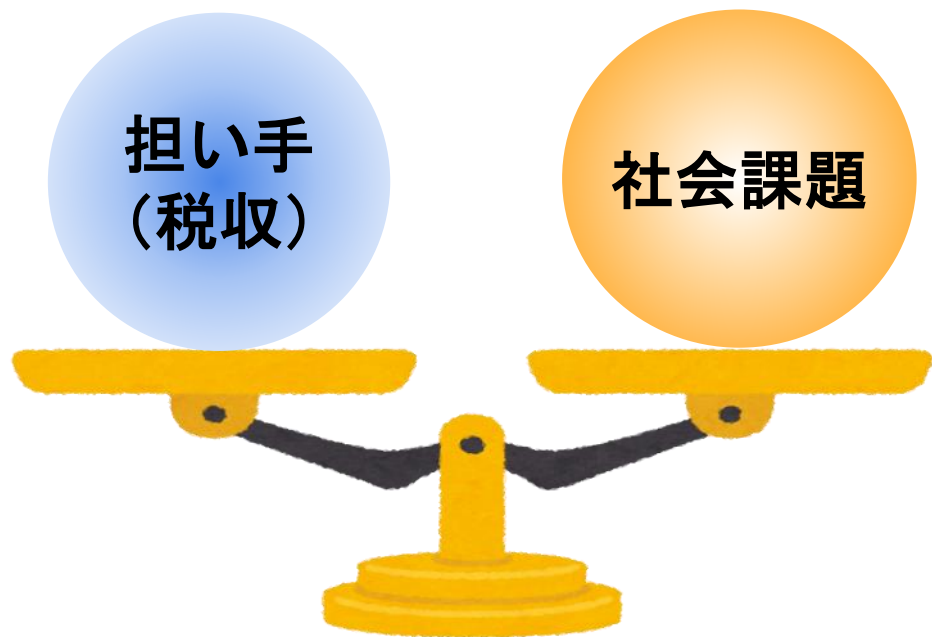
レバレッジポイント特定の事例：GIGAスクール構想の背景



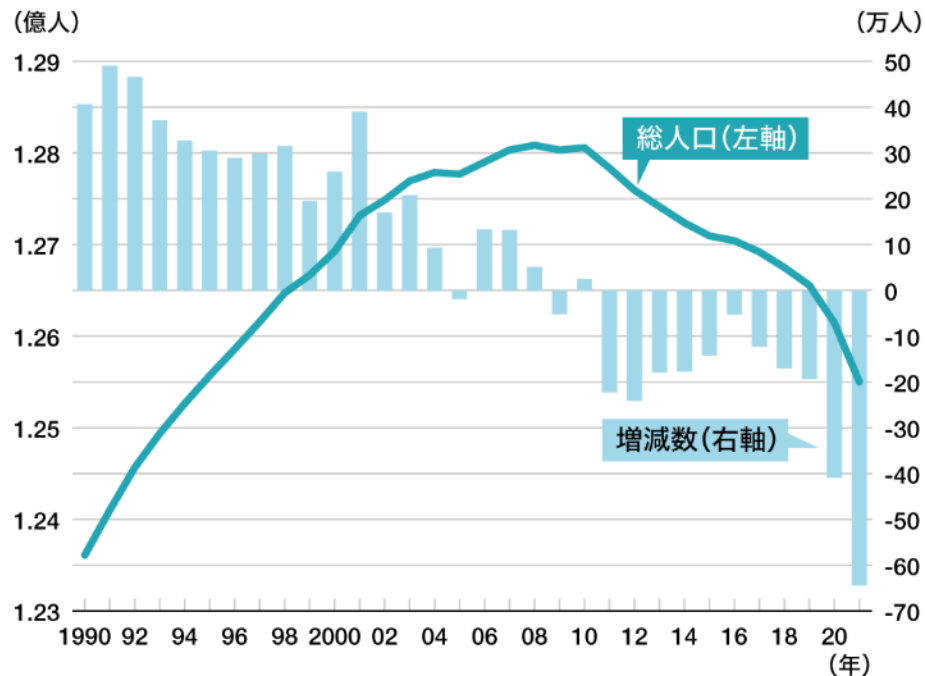
全生徒へのPC端末提供が、子どもの学びや教師の長時間労働、 更には格差問題や所得・税収減のレバレッジポイントと特定



人口増加・高度な経済成長が進む社会においては、
政府・自治体が中心となって、社会課題へ対応できた



ところが現代の日本社会では…

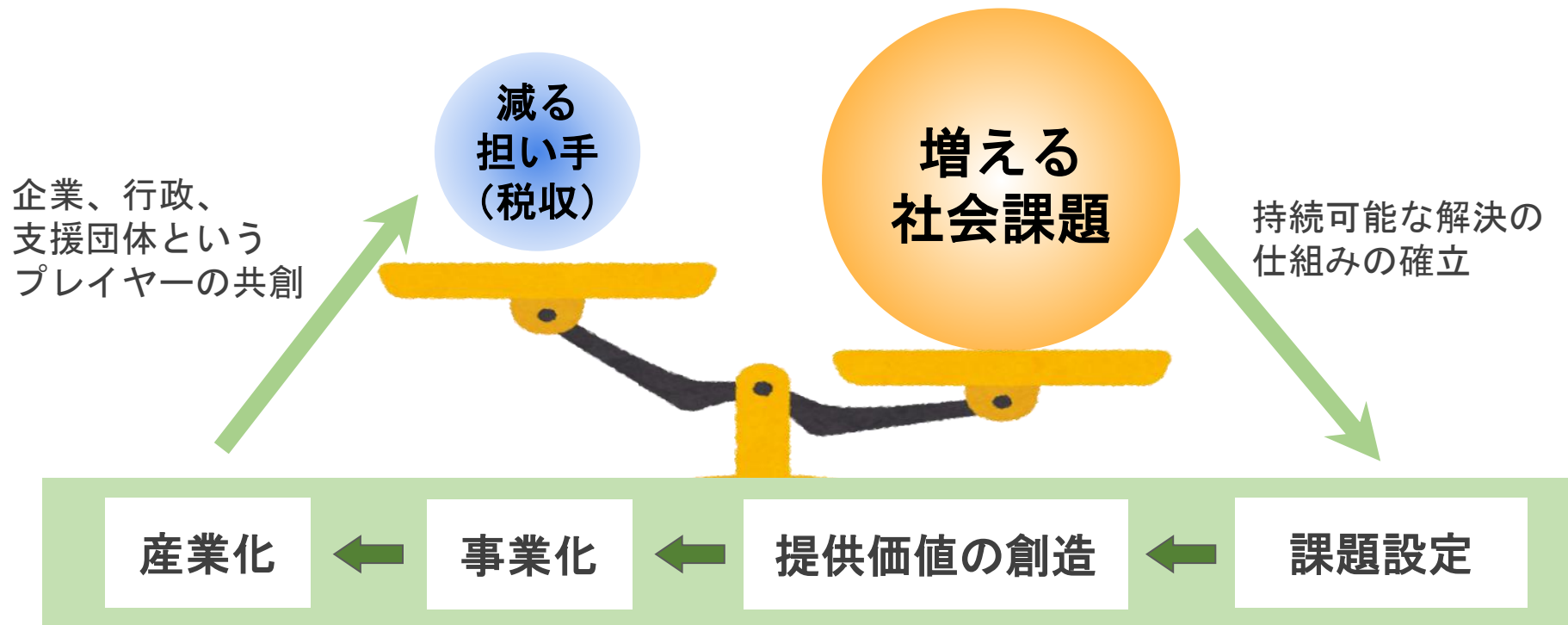


			無戸籍
		特別養子縁組	食品ロス
	性風俗	児童養護施設	障害者雇用
小児性犯罪	摂食障害	奨学金制度	教員の多忙化
万引き依存症	父子家庭	若年妊娠	生活保護
障害者の恋愛	子どもの自殺	児童ポルノ	出所者支援
高齢者虐待	被災地支援	不登校	子どもの安全
ひきこもり	DV	依存症	難病
がんの緩和ケア	難民問題	外国人技能実習	ヘイトスピーチ
	ホームレス	コロナウイルス	外国人ルーツ
		メンタルヘルス	医療的ケア児
			痴漢

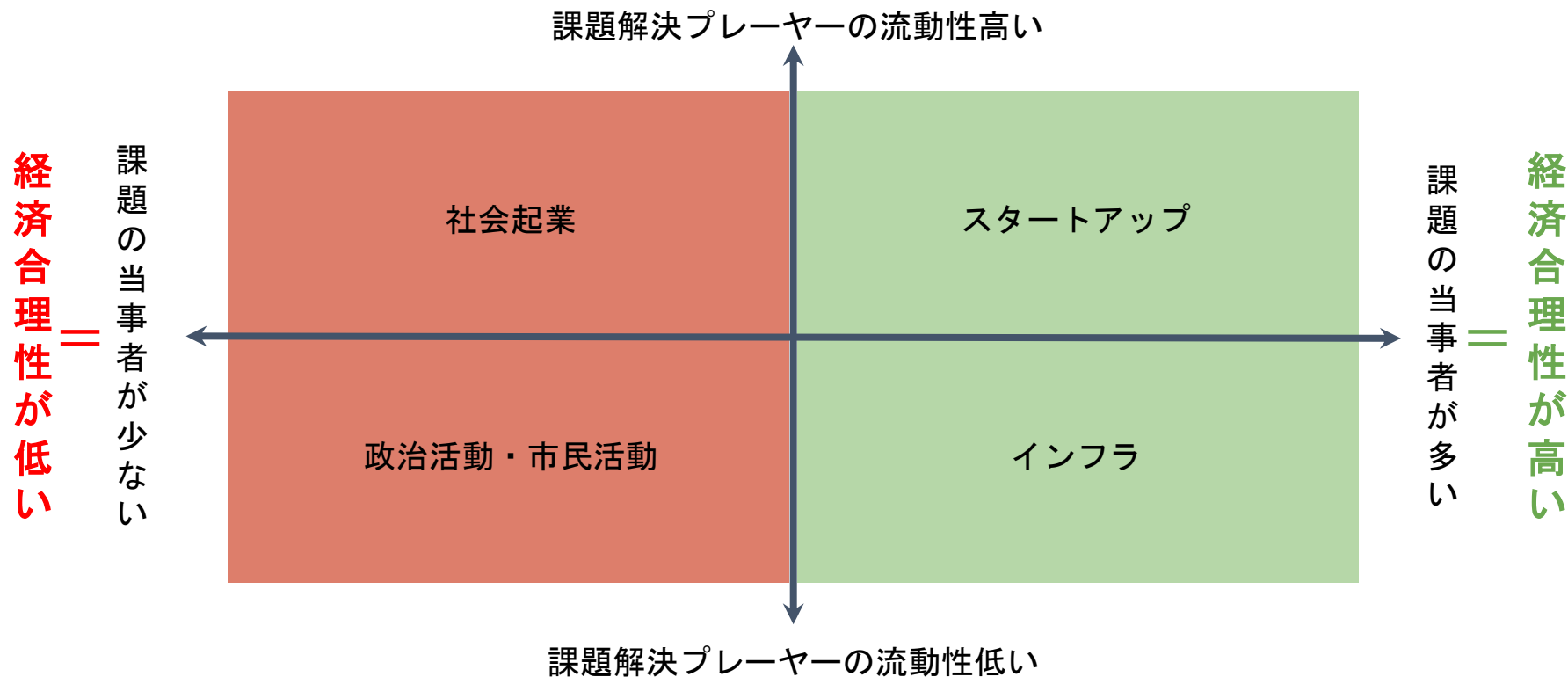
「超高齢化社会」「人口減」の時代に突入。 政府・自治体だけが主導で社会課題を解決することは限界に



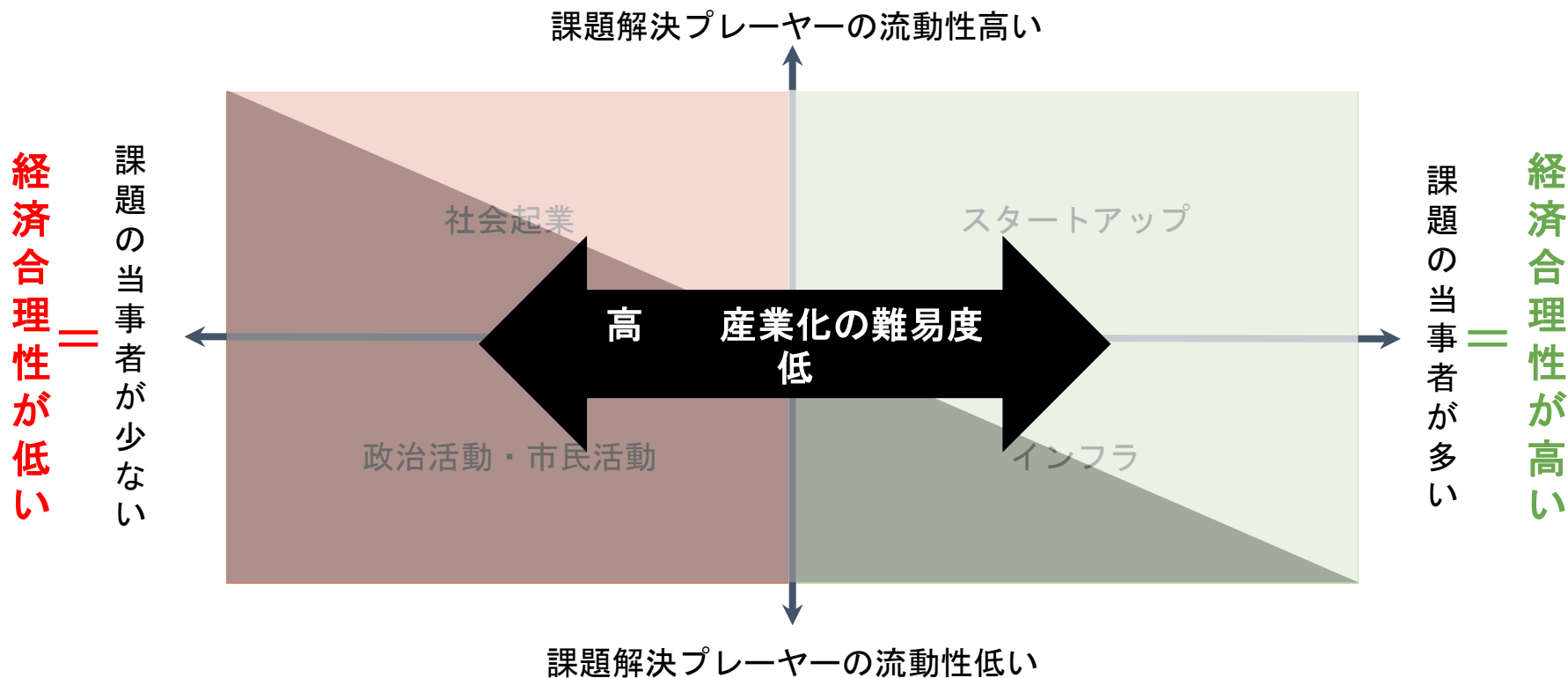
課題解決を産業化し、企業など多くのプレイヤーが 社会課題への対応に参画する、持続可能な仕組みが必要



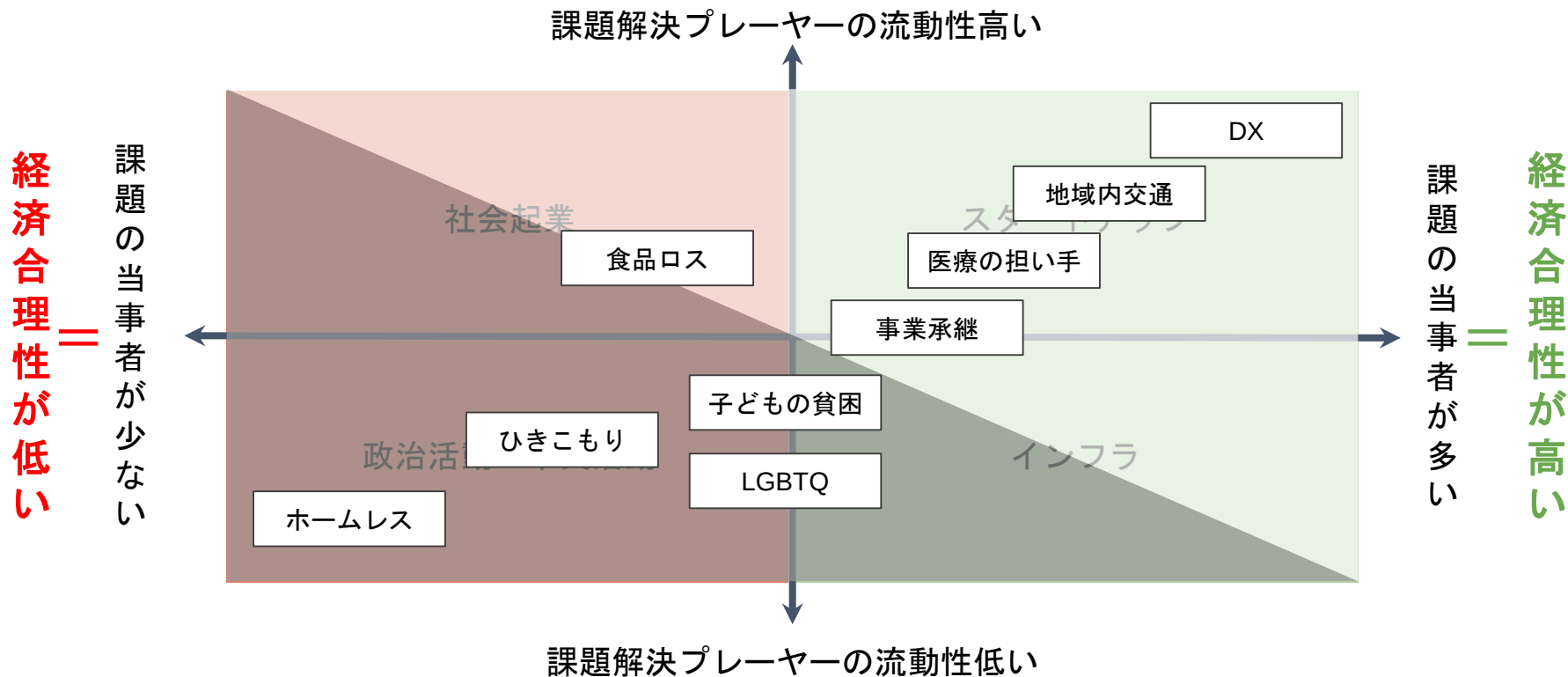
社会課題と事業の相性：課題解決のアプローチ整理



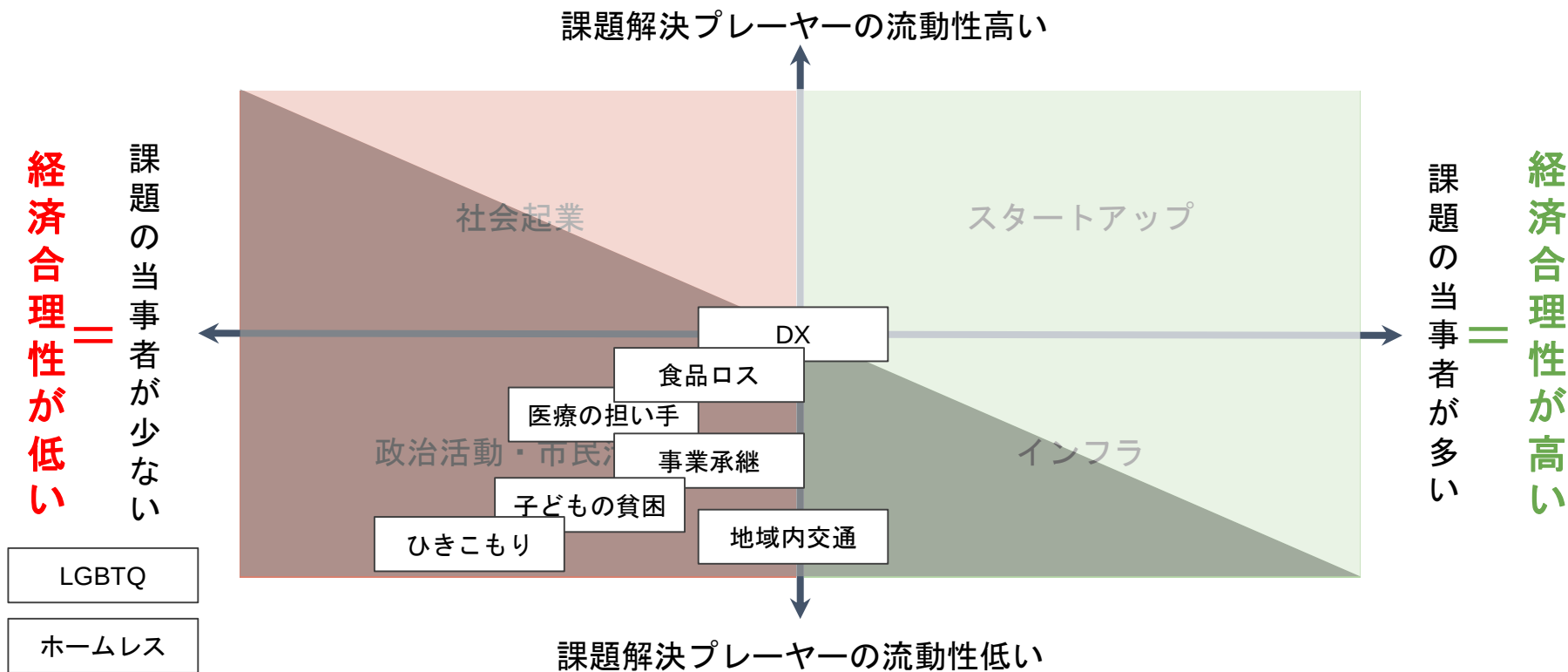
社会課題と事業の相性



社会課題と事業の相性：都市部

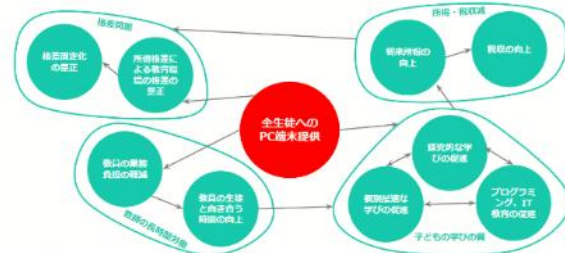


社会課題と事業の相性：地方部



行政が取り組むべきこと：公的資金の効率的投資

社会問題の構造を理解し、
レバレッジポイントを特定
例：GIGAスクール構想



「レバレッジポイント」の産業化の難易度を判断

公的資金を効率的に投資

構造化の理解を進めるには

社会課題を構造化するメディア「リディラバジャーナル」で！



どうやって取り組むか：産業化の難易度を下げる試み



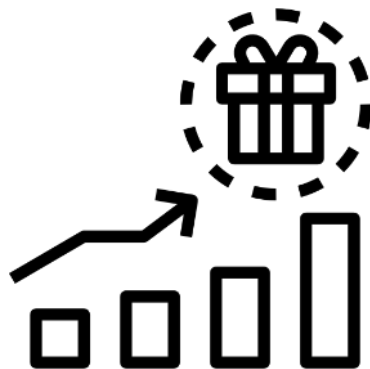
金融：インパクト投資

社会的価値のあるものへ、リスク
マネーを接続させる



事業：社会起業

持続可能な課題解決のため、洗練
されたモデルを構築し、社会的イ
ンパクトを出していく

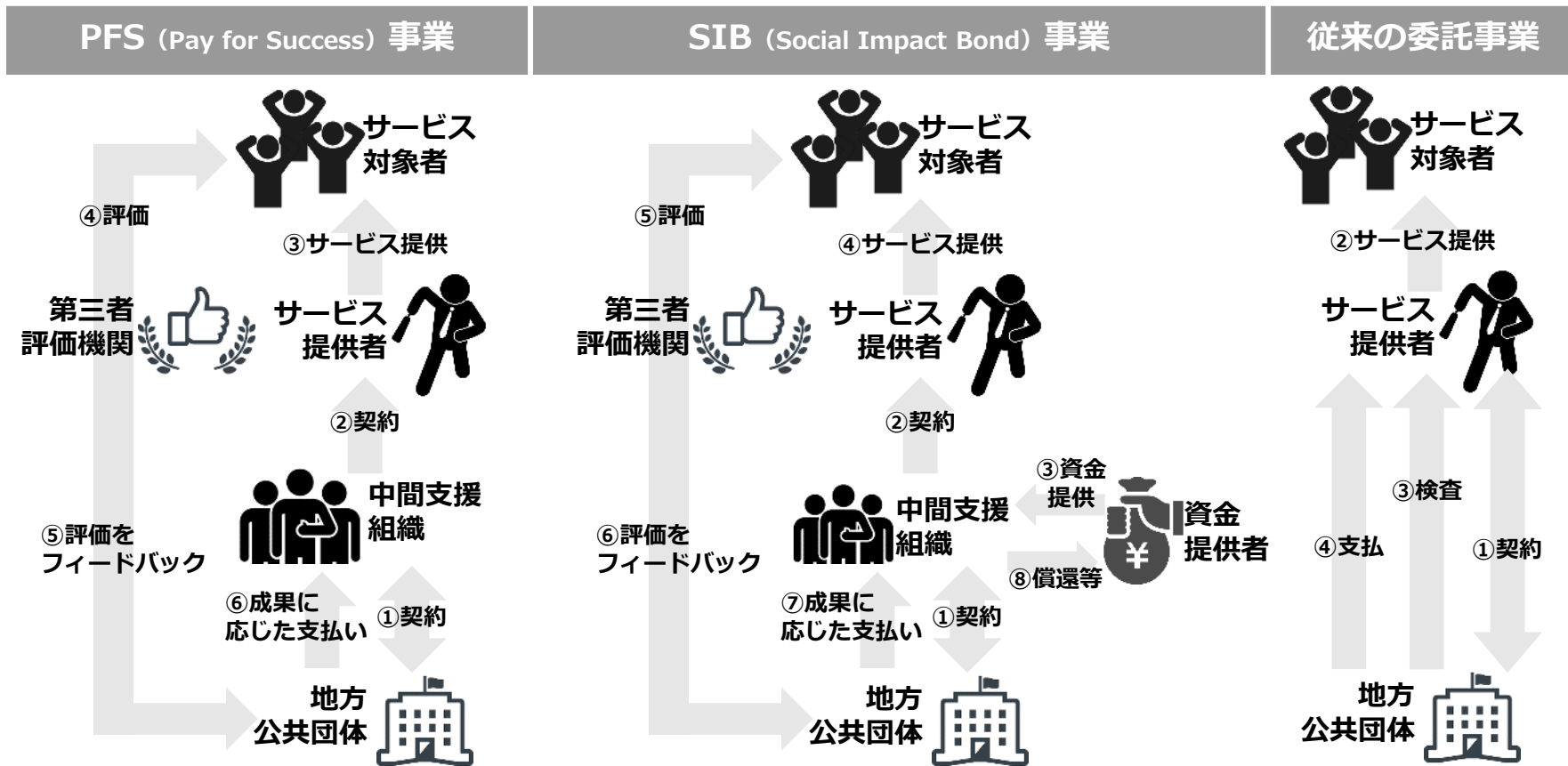


アウトカムへの

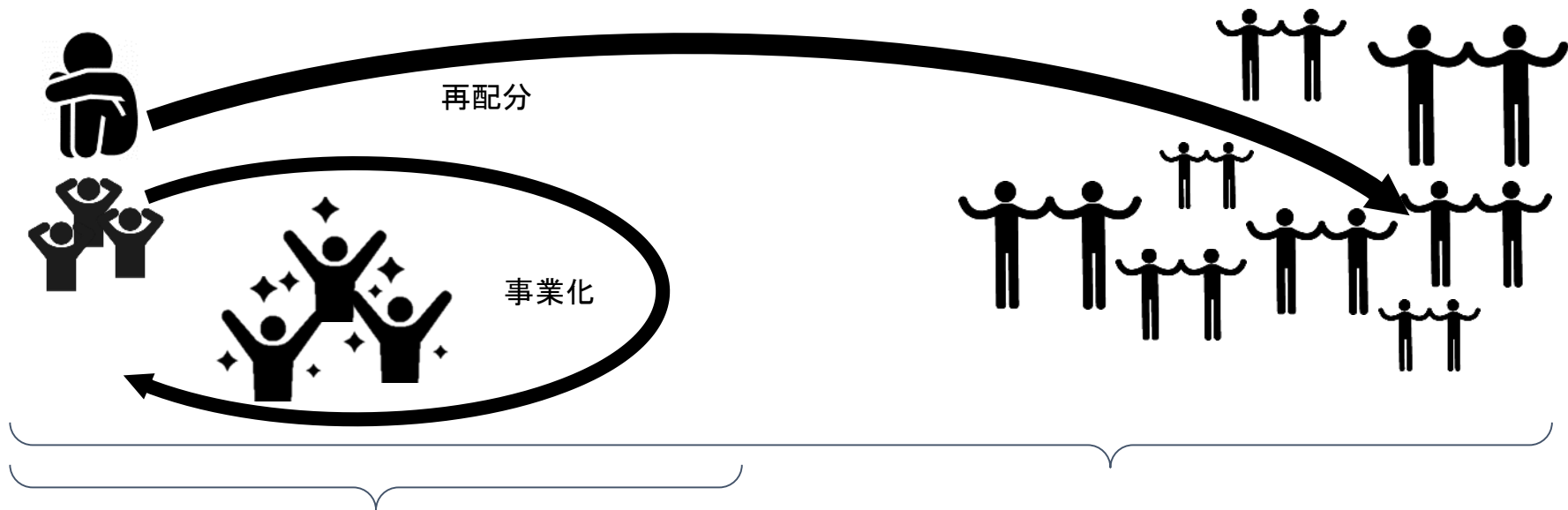
インセンティブ：PFS

金銭的リターンはつきにくいが社
会的インパクトの高い成果に対し、
インセンティブをつける

どうやって取り組むか：Pay for Success (PFS)



ショートタームとロングタームの課題解決



ショートタームの課題解決：

産業化の難易度が低いものから事業化されていき、目に見えた課題解決が進む。実経済が回るので、税金を生むことにもつながる。時間軸も短く、1世代のうちに課題解決が進むことも。政治の立場からは、産業化に近づけるための工夫や仕組みづくりが必要。

ロングタームの課題解決：

産業化の難易度が高いものは、社会にとっては長期的に効率的な投資だが、短期的には再配分であり、その世代がリターンを受けることは少ない（例：少子化対策、生活保護など。福祉分野に多い）。リディラバがチャレンジしている分野であり、政治が力を発揮する分野でもある。